

2008年度図書館協力者（音訳者）養成講座（スキルアップコース） 開催のご案内

社団法人日本図書館協会
障害者サービス委員会

全国で音訳者として活動しておられる図書館協力者の皆さん、日頃より図書館へのご支援・ご協力ありがとうございます。日本図書館協会では、より良質な録音資料の製作と対面朗読サービスの提供のため、2006年度よりこの講座を開催しています。

音訳活動を始めて数年経つと、「読みの技術を上げたい」「もっとわかりやすい音訳処理の方法があるのではないか」などと、目標や迷いが出てくるのではないのでしょうか。この講座は、そのような方が、ご自身の音訳技術を振り返るとともに、公共図書館における資料提供の考え方についての理解を深めることができる講座です。

一流講師陣による最新のノウハウを提供します。多数のご参加をお待ちしています。

1. 日時

2008年10月29日(水)・30日(木), 11月12日(水)・13日(木)(4日間)

10:00～17:00(10/30は17:20, 11/13は16:00終了予定)

2. 会場

日本図書館協会研修室, 会議室

3. 対象

以下の条件をすべて満たしている方

(1)現在公共図書館で活動している。または公共図書館に録音図書や雑誌を納めている団体に所属している。

(2)録音図書・雑誌の製作あるいは対面朗読の実績があり、3年以上の活動経験がある。

(3)全4日間参加できる。(※)

※定員に満たない場合に限り、部分参加を認めます。詳しくは「7. 申込みから受講までの流れ」をご覧ください。

* 初心者・未経験者は参加できません。上記条件を満たしていれば図書館職員も参加できます。

4. 定員

50名(先着順)

5. 内容および講師(敬称略)

10月29日(水)

* 講義:「公共図書館の障害者サービスと音訳者の活動」 佐藤聖一(埼玉県立久喜図書館)

* 実習:「朗読法—文章の音声表現」1・2 杉澤陽太郎・榊寿之・森川靄子

((財)NHK放送研修センター日本語センター・アナウンサー)

10月30日(木)

* 講義:「音声化処理技術のポイント」 佐藤聖一

* 実習:「音声化処理技術 —カッコのある文章, 図・表・グラフ等の読み」1・2

高橋久美子, 齊藤禮子, 安原素子(音訳指導者)

11月12日(水)

* 実習:「音声化処理技術 —カッコのある文章, 図・表・グラフ等の読み」3

高橋久美子, 齊藤禮子, 安原素子

* 講義:「利用者にとって聞きやすい録音図書・雑誌とは」 川上正信(横浜市中央図書館)

* 講義:「読みの調査法」 松本麻湖(埼玉県立浦和図書館)

11月13日(木)

* 講義:「対面朗読実施上の留意点」 中山玲子(日野市立中央図書館)

* 実習:「対面朗読の実際」 中原幸子, 蛭田道子, 柳澤由紀子(公共図書館音訳者)

※実習はすべて、3クラス(1クラスは16から17名程度)に分かれて行います。

6. 参加費

15,000円(資料代を含む)

7. 申込みから受講までの流れ

(1)申込み(2008年7月17日(木)から9月19日(金)まで)

全4日間参加を基本としますが、定員に満たない場合に限り、部分受講を認めます(カッコ内は参加費)。ご希望の日程の記号を添えてお申し込みください。

A:全4日間(15,000円)

B:1～3日目(12,000円)

C:1日目午前と4日目(4,000円)

※B, C以外の日程での部分受講はできません。

(2)事務局から申込み確認通知(メールかファクシミリ)

申込み後1週間を過ぎても連絡がない場合は電話でお問い合わせください。

(3)事務局から受講決定通知, 参加費振込案内・事前課題の送付(8月4日頃から順次発送予定)

部分参加希望者の方への送付は9月20日以降になります。(定員に達し受講をお断りする場合は、決定次第お知らせします。)

(4)事前提出課題の提出(郵送)(10月6日(月)必着)

(5)当日

事前提出課題の控えと、その他の課題を持参してください。

課題をすべて完了し、全4日間参加した方には「修了証」を授与します。

※申込み後、参加費を振込む前にキャンセルされる場合は、必ず事務局までご連絡ください。

8. 申込み方法

メールあるいはファクシミリ又は郵送でお願いします。(メールの使える方はなるべくメールで)

* メール

申込書の内容をメール本文に入力してお送りください。

メールの件名は「図書館協力者養成講座申込み」としてください。

ホームページからExcel形式の申込書をダウンロードすることもできます。

<http://www.jla.or.jp/lsh/2008onyaku.html>

* ファクシミリ

申込書に必要事項を記入してお送りください。送付票は不要です。

文字は楷書ではっきりと、黒ペンなどで記入してください。

9. 事前課題について

課題は事前に郵送で提出していただくものと、当日までに回答を作成してご持参いただくものがあります。

詳しい内容や提出方法等については受講決定者に送付する資料をご覧ください。

10. 申込み・問合せ先

日本図書館協会企画調査部「図書館協力者養成講座係」

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03-3523-0815 FAX 03-3523-0841

E-mail: kikaku@jla.or.jp

11. その他

* 申込みにあたってお送りいただく個人情報は、この講座の運営、連絡以外には使用いたしません。なお、必要に応じ、事務局から当協会障害者サービス委員会委員の勤務先にメールやファクシミリを転送することがありますが、各勤務先においても個人情報の管理には十分注意いたします。

* 申込み後、参加費を振り込む前にキャンセルされる場合は、必ず事務局までご連絡ください。

2008年度図書館協力者(音訳者)養成講座スキルアップコース 申込書

No.	項目	回答	記入例
1	希望日程(記号を記入) A:全4日間 B:1~3日目 C:1日目午前と4日目		A
2	氏名		音訳 花子
3	氏名フリガナ		オンヤク ハナコ
4	郵便番号		〒104-0033
5	住所		中央区新川1-11-14
6	電話番号		03-1111-2222
7	FAX番号		03-1111-2222

No.	項目	回答	記入例
8	活動している公共図書館名(グループ名)		新川市立図書館
9	活動している図書館での登録形態 ア. 図書館に音訳者として個人登録 イ. 所属グループが図書館に音訳グループとして登録 ウ. 独立したグループとして図書館に録音資料を納品 エ. その他(具体的に記入してください)		ア
10	上記図書館以外で何か音訳活動をしている場合、グループ名や活動内容等		新川点字図書館
11	(1) 音訳経験年数(約 年)		10
	(2) (1)のうち、公共図書館経験年数(約 年)		6
12	・以下(1)から(4)のうち、あなたが 現在公共図書館で行っているものに○を 、行っていないものに×をつけてください。 ・それぞれ経験年数や実績をご記入ください。その際は 公共図書館以外での経験・実績も含めて ください。 実績については該当する記号を選んでください。		
	(1) 録音図書製作	公共図書館	○
		経験年数(約 年)	9
		通算製作タイトル数 ア:0~10タイトル イ:11~50タイトル ウ:51~100タイトル エ:101~200タイトル オ:201タイトル以上	イ
	(2) 録音雑誌製作	公共図書館	×
		経験年数(約 年)	
通算音訳時間 ア:0~50時間 イ:51~100時間 ウ:101~200時間 エ:201~500時間 オ:501時間以上			

	(3) 録音資料の校正(モニター)	公共図書館		○
		経験年数(約 年)		6
		通算校正タイトル数 ア: 0～20タイトル イ: 21～50タイトル ウ: 51～100タイトル エ: 101～200タイトル オ: 201タイトル以上		イ
	(4) 対面朗読	公共図書館		○
		経験年数(約 年)		6
		通算音訳時間 ア: 0～20時間 イ: 21～50時間 ウ: 51～100時間 エ: 101～200時間 オ: 201時間以上		エ
13	<p>これまでに受けた音訳者養成講座・研修の経歴について、記入してください。多数ある場合は主なもの(ご自身の判断で選択)3つ程度としてください。記入内容:年(西暦), 主催者名(図書館名等), 講座名, 実施回数</p> <p>(記入例) 1998年 新川点字図書館 音訳ボランティア研修 20回 2002年 新川市立図書館 音訳者養成講座(初級) 15回 2005年 新川市立図書館 音訳者養成講座(中級) 6回</p>			
14	<p>音訳講座の講師の経験がある場合、その内容を簡潔にお書きください。</p>			
15	<p>今回の講座で特に学んでみたいこと、日頃の音訳活動で困っていること等ありましたら、具体的にお書きください。</p>			
16	<p>その他(該当する場合、○をつけてください)</p> <p>車いすの使用 有</p> <p>介助の必要 有</p>			
				氏名